

本 会 会 報

学会だより

2000年シンポジウム課題の公募

来年弘前大学で開催予定の日本育種学会秋季大会のシンポジウムの課題を公募いたします。多数の応募をお待ちしております。シンポジウムのプロシーディングは事前に印刷し、学会当日「育種学最近の進歩」として販売します。そのため、シンポジウム課題は1999年9月のシンポジウム委員会で決定し、2000年7月頃までに各話題提供者から原稿をいただく事になります。

要 領

1. シンポジウムは全体で3課題程度とし、課題を公募する。
 2. シンポジウムの形式は従来に準ずる。
 3. 応募者は下記の事項について記載の上、シンポジウム委員長宛応募する。事項はA4判用紙に横書きで簡条書きにすること。
 - 1) 課題責任者氏名、連絡先、電話およびファックス番号、E-mail アドレス
 - 2) シンポジウム課題名
 - 3) 課題設定のねらい、内容、範囲などに関する簡潔な記載
 - 4) 予定話題提供者氏名、所属、予定話題名(話題提供者は会員に限らなくてよい)
 - 5) 予定時間
 - 6) 予想参加者人数
 - 7) シンポジウム開催にあたって学会本部および開催地の実行委員会に特に希望する事項
- 以上すべての項目について明確な提案のできない場合は、2) 3) 4) についての情報提供も歓迎します。
4. 応募宛先
〒305-8572 つくば市天王台1-1-1,
筑波大学農林学系 生井兵治(シンポジウム委員長)
E-mail: hyohyo@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
 5. 締 切 1999年8月31日

◇ 常任幹事会記録

日 時:平成11年3月13日 13:00~17:00

場 所:東京大学大学院農学生命科学研究科会議室

出席者:会長 平井篤志, 武田和義, 二宮正士, 野村和成, 堤 伸浩, 大川安信, 若狭 暁, 岡 正明, 小巻克巳, 高野哲夫, 辻本 壽

各常任幹事の経過報告後、平成11年度予算案、会則および内規の改正、平成12年度出版および事務委託契約などについて検討をおこなった。

◇ 幹 事 会

日 時:平成11年4月2日 14:00~18:00

場 所:宇都宮大学農学部

出席者:会長 平井篤志, 副会長 武田和義, 足立泰二, 大川安信,

大澤 良, 大谷基泰, 岡 正明, 荻原保成, 加藤謙司, 加藤正弘, 門脇光一, 上島脩志, 北野英巳, 倉田のり, 神山康夫, 小巻克巳, 佐々木義之, 笹原健夫, 佐藤茂俊, 佐野芳雄, 島本義也, 高野哲夫, 高畑義人, 樽本 勲, 辻本 壽, 堤 伸浩, 生井兵治, 西尾 剛, 二宮正士, 野村和成, 原田久也, 原田竹雄, 平野博之, 福山利範, 藤村達人, 古田喜彦, 松田長生, 丸橋 亘, 三位正洋, 三上哲夫, 安室喜正, 藪谷 勤, 山口裕文, 米澤勝衛, 若狭 暁

報 告

各常任幹事から経過報告がなされた。

- (1) 会員数は3月12日現在、名誉会員12名、個人会員1869名、その他団体会員、賛助会員を合わせた総数は2102名である。
- (2) Breeding Science 48巻には原著45、速報2、資料15、通信その他を集録し、総計476ページであった。
- (3) 平成10年度秋季大会での講演総数は348題(うち取り消し1)であった。平成10年度春季大会での講演総数は289題(うち取り消し1)の予定。

議 事

- (1) 若狭暁氏の後任の編集幹事として松田長生氏を、また庶務幹事として平野博之氏を指名幹事として補充することが承認された。
- (2) 学会賞等選考委員として、足立泰二、島本義也、生井兵治、原田久也、安室善正、米沢勝衛の6氏が選出された。内規に従い、委員長は副会長の武田和義氏となった。
- (3) 第18期学術会議会員候補者選考委員として、佐野芳雄、原田久也、古田喜彦、三位正洋の4氏が選出された。内規に従い、委員長は副会長の武田和義氏となった。
- (4) 総会議事事項として平成10年度決算報告、平成11年度予算案が検討された。
- (5) 総会議事事項として、会長および副会長の選出方法に関して会則の改正が検討され、改正案として総会に上程することが認められた(新会則は本号に掲載)。また、奨励賞の選定方法および沖縄県からの幹事の選出方法などについて、内規が改正された。
- (6) 平成12年度の出版および事務委託について中西印刷株式会社と契約する事となった。
- (7) 平成12年度春季大会は生井兵治氏を大会運営委員長として平成12年4月2日(日)、3日(月)に筑波大学で開催されることになった。

◇ 総 会 議 事 内 容

- (1) 常任幹事経過報告
 - (2) 平成10年度決算報告
 - (3) 平成11年度予算案の審議
 - (4) 会則の改正
 - (5) 平成12年度の出版および事務委託契約
- 以上はいずれも異議なく承認された。

◇平成10年度日本育種学会賞授賞式

福井希一氏, 向井康比己氏:有用植物染色体画像解析と分子細胞
遺伝学的研究

北海道立十勝農業試験場小豆育種グループ:エリモショウズおよび
大粒・耐病性アズキ品種群の育成

◇平成10年度日本育種学会奨励賞授賞式

渡邊和男氏:バレイショの遺伝育種学と遺伝資源についての一連の
研究

村井耕二氏:日長感応性細胞質雄性不稔を利用するハイブリッド小
麦育成に関する基礎的研究

◇平成10年度決算, 平成11年度予算

収 入	平成10年度決算	平成11年度予算
1. 前年度繰越金	1,500,000	1,500,000
2. 会員会費	15,785,954	15,835,000
3. 賛助会員会費	1,220,000	1,340,000
4. 文部省助成	3,041,054	2,300,000
5. 別冊等頒布	4,552,500	4,830,000
6. 雑収入	5,607,089	3,215,000
7. 寄付金	600,000	0
8. 運営基金より繰入	0	0
合 計	32,306,597	29,020,000

支 出	平成10年度決算	平成11年度予算
I. 事業費	19,678,709	20,840,000
1. 雑誌刊行費	12,630,389	14,940,000
2. 別冊印刷費	4,117,374	4,100,000
3. 大会費	1,200,000	1,200,000
4. シンポジウム費	1,400,316	200,000
5. 学会賞費	300,630	400,000
6. 育種学用語集費	30,000	~
II. 運営費	5,319,901	5,660,000
1. 学会分担金	181,884	200,000
2. 雑誌購入費	0	50,000
3. 事務担当者手当	195,000	210,000
4. 事務費	4,983,017	5,200,000
1) 庶務	346,580	800,000
2) 編集	1,983,315	2,000,000
英文誌	1,573,821	1,500,000
和文誌	409,494	500,000
3) 集会	383,670	400,000
4) 会計	28,032	100,000
5) 付属印刷物等	2,241,420	2,500,000
III. 予備費	0	2,520,000
IV. 学会賞基金へ繰入	0	0
V. 次年度への繰入	1,500,000	0
VI. 運営基金への繰入	5,767,987	0
合 計	32,306,597	29,020,000

基 金	平成10年度決算	平成11年度予定
運営基金	16,377,571	16,377,571
学会賞基金	3,250,000	3,250,000

◇日本学術会議50周年記念公開シンポジウム

「育種(品種改良)による新しい食材

—食味と健康をめざしたニューフェイスたち—」

主 催:日本学術会議育種学研究連絡委員会, 同家政学研究連絡委
員会, 同栄養・食糧科学研究連絡委員会, 日本育種学会, 日
本植物細胞分子生物学会, 日本遺伝学会, 日本畜産学会, 日
本家禽学会, 日本水産学会, 日本作物学会, 園芸学会,
(社)農林水産技術情報協会

日 時:平成11年7月5日(月)13時~17時30分

会 場:日本学術会議講堂(1階), 東京都港区六本木7-22-34
(電話03-3403-6291)

参加費:不要

[講 演]

開会挨拶:武田元吉(育種学研連委員長, 玉川大学農学部) 13:00~13:05

座 長:村松 晋(育種学研連幹事, 畜産技術協会)

日本人の食生活と新しい食材—消費者の立場から— 13:05~13:30

畑江敬子(栄養・食糧科学研連委員, お茶の水大学生生活科学部)

畜産における消費ニーズの多様化と新品種 13:30~13:55

大石孝雄(育種学研連委員, 農林水産省畜産試験場)

健康食品としての海苔—その育種— 13:55~14:20

鬼頭 鈞(農林水産省水産大学校)

食味と健康をめざした米 14:20~14:45

横尾政雄(筑波大学農林学系)

座 長:日向康吉(育種学研連委員, 採種実用技術研究所)

食材として大豆の魅力 14:45~15:10

原田久也(育種学研連幹事, 千葉大学園芸学部)

使いやすさと栄養価を考えた新しい野菜

池上隆之(サカタのタネ掛川総合研究センター) 15:10~15:35

カンキツの育種と機能性

松本亮司(農林水産省果樹試験場) 15:35~16:00

[総合討論] 16:00~17:20

座 長:村松 晋, 日向康吉

コメンテーター:畑作物の紹介

小巻克巳(農林水産省農業研究センター)

茶の新しい育種

山本万里(農林水産省野菜・茶業試験場)

食品科学の立場から

安本教傳(栄養・食糧科学研連委員長,

相山女学園生活科学部)

閉会挨拶:梶浦一郎(育種学研連委員, 農林水産省果樹試験場)

◇EUCARPIA,

“VII Eucarpia Meeting on Cucurbit Genetics and Breeding” 19-23
March, 2000, Jerusalem, Israel

上記First Circularが届きました。詳細は庶務幹事・平野(東大農
学生命科学)までお問い合わせ下さい。

◇ サイエンス・フロンティアつくば 999(SFT999)

農業科学部会セッション

「植物ゲノム研究—新世紀への挑戦—」

【日 時】1999年11月17日(水)~19日(金)

【会 場】つくば国際会議場(茨城県つくば市竹園2-20-3)

【主 催】つくば国際会議場自主事業組織委員会

【事前登録料】一般20,000円/学生6,000円

【問合せ先】SFT999事務局(株)アイシーエス企画内 担当:田代, 岡山 TEL:03-3263-6153, FAX:03-3263-7318
E-mail: sft999@ics-inc.co.jp, URL: http://www.sft.gr.jp

【プログラム概要】基調講演:「21世紀における食料安定生産のためのゲノム研究と育種戦略」G. S. Khush, 招待講演:「基礎および応用科学発展のための植物ゲノム中の財宝」R. Flavell, 「農業のための植物ゲノムの多型検出」M. Zabeau, 「アラビドプシスゲノム学の展望」田畑哲之, 「イネゲノム学に期待されるもの」佐々木卓治, 「穀類ゲノム間のシンテニーとその農業への利用」R. Phillips, 総合討論: 「21世紀における食料安定生産のためのゲノム研究と育種戦略」. 他に構造生物学部会, 脳科学部会, 物質科学部会, 地球科学部会, 情報通信科学部会のセッションがある.

◇ 公開講演会「高齢化社会における大豆たん白質食品」

【日 時】1999年8月5日(木) 13:00-17:00

【会 場】経団連会館14F経団連ホール(千代田区大手町)

【主 催】(財)不二たん白質研究振興財団

【申し込み先】〒598-8540泉佐野市住吉町1, (財)不二たん白質研究振興財団 担当:上田, 山本(聴講無料, 要申込)

Tel: 0724-63-1764, Fax: 0724-63-1756

【プログラム概要】「21世紀の食糧供給と研究の役割」貝沼圭二, 「大豆ペプチドの生理的役割」伏木 亨, 「医療と大豆タンパク質食品—肥満・生活習慣病—」池田義雄, 「がんと食事成分」渡邊 昌

◇ ワークショップ

“Plant and Microbe Adaptations to Winter Environments in Northern Areas” 19-21 May, 2000, Akureyri, Iceland

【問い合わせ先】〒062-8555札幌市豊平区羊ヶ丘1番地北海道農試 入来規雄 E-mail: iriki@cryo.affrc.go.jp, TEL: 011-857-9301, FAX: 011-859-2178

談話会だより

◇ 近畿地域談話会 第146回例会

日 時:平成10年12月4日(金)10:00~17:10

場 所:神戸大学農学部大会議室(A棟3F)

一般講演:

1) イネトビロウカ抵抗性遺伝子 *bph4* の RFLP およびマイクロサテライトマッピング

◎川口充洋, 村田和優, 宅見薫雄, 石井尊生, 森 直樹, 中村千

春(神戸大学農学部)

2) タルホコムギ細胞質を持つ4倍性コムギのミトコンドリアDNA多型

◎塚本尚子¹, 朝倉史明², 宅見薫雄¹, 森 直樹¹, 中村千春¹
(1 神戸大学農学部, 2 神奈川大学工学部)

3) コムギ第1同祖群染色体の構造多型に基づく4倍性コムギのゲノム分化

◎石堂貴夫, 宅見薫雄, 森 直樹, 中村千春(神戸大学農学部)

4) Trans-activation of a maize Ds transposable element in transgenic rice callus lines expressing the *Ac* transposase gene.

◎Renando Solis, Miwa Nijima, Shigeo Takumi, Naoki Mori and Chiharu Nakamura (Fac. Agri., Kobe Univ.)

5) タバコ毛状根組織からのGタンパク質 α , β サブユニット遺伝子の単離

◎安藤誠治, 清水木綿, 宅見薫雄, 森 直樹, 中村千春(神戸大学農学部)

6) ナス台木品種と土壌病害抵抗性近縁種の組織からの植物体再生

岩本 嗣(大阪府立農林技術センター)

7) 種子ないし稚苗の低温反応にみられる水稻の直播適性

◎堀端 章, 前田 哲, 山縣弘忠(近畿大学生物理工学部)

8) 長期無施肥田における水稻諸形質の位置的変動

◎奥村俊勝, 竹内史郎(近畿大学農学部)

9) 水稻「あじまる」における生育と米中タンパク質含有率の関係

◎澤田富雄, 田中萬紀穂, 吉川年彦(兵庫県立中央農業技術センター)

10) 小麦晩播栽培において播種量が生育, 収量および品質に及ぼす影響

◎岩井正志¹, 小河拓也², 須藤健一¹(1 兵庫県立中央農業技術センター, 2 北部農業技術センター)

11) 水田土壌における緑肥作物 *Sesbania rostrata* の茎粒形成と窒素固定

◎千原 隆, 大門弘幸(大阪府立大学農学部)

12) スルホニルウレア系除草剤抵抗性雑草の出現とその防除

◎杉本 充¹, 大橋善之², 河瀬弘一¹(1 京都府丹後農業研究所, 2 京都府農業総合研究所)

特別講演:

培養変異を利用したふき新品種「のびすぎでんねん」の育成
岩本 嗣(大阪府立農林技術センター)

日本育種学会会員異動(1999. 1. 23~1999. 4. 21)

◇ 普通会員入会 : 許 東河, 高橋宙之(北海道), 八島敏行(青森), 竹澤利和(岩手), 井辺時雄, 眞部 徹, 山口博康(茨城), 黄川田智洋, 佐藤信之助, 堀崎敦史(栃木), 島田浩章, 屋下亮(千葉), 李 玉花, 遠藤さおり, 岸野洋久, 杉田耕一, 横山勇生(東京), 阿部浩人(神奈川), 天野良紀(山梨), 高柳充寛(新潟), 島田武彦, 田中邦明(静岡), 住田 敦(滋賀), 渡邊純子(和歌山), 宇都木繁子(岡山), 青木俊和(高知), 内村要介(福岡), 村川智子(長崎), N. P. S. Dhillon(沖縄)

◇学生会員入会 :Khin Thidar, 久岡由佳(北海道), 大島正稔, 根田美和子, 佐々木直子, 高橋 亮(岩手), 櫻井 望, 中川裕子(宮城), カマル A. H. M., 崔 海英(山形), 高橋竜一(埼玉), 井川智子, 土屋徳司(千葉), 張 明方, ヴェグナー・イエンス, 春原英彦, ヌルルクマイダ, 宮原 章, 山田暁生, 山中雅照(東京), 雨宮 剛(神奈川), 松本憲浩(静岡), 池上秀利, 今井雄大, 草木幸子, 月森敦之, 北條雅也, 本田綾子, 山口圭子, 頼富寿秀(京都), 石丸由佳, 岩原洋子, 馬 彪(大阪), 片寄幸二, 津田直哉(和歌山), 景山圭祐(岡山), 弓削俊浩(福岡), 董 彦君(宮崎), 安部 匡(鹿児島)

◇団体会員入会 :道立北見農業試験場(北海道), 青森県りんご試験場(青森), 山形大学農学部図書分館(山形), 千葉大学附属図書館園芸学部分館(千葉), 東京農業大学図書館, 丸善(株)ブックネット(東京), 山梨県果樹試験場(山梨), 長野県農業総合試験場, 蚕糸・昆虫農業技術研究所松本研究チーム(長野), 北陸農業試験場(新潟), 静岡大学附属図書館(静岡), 名古屋大学農学部図書掛(愛知), 岐阜大学附属図書館(岐阜), 滋賀県立大学図書情報センター(滋賀), 近畿大学生物理工学部図書館(和歌山), 鳥取県林業試験場(鳥取県), 九州農業試験場(福岡県), 佐賀県果樹試験場(佐賀)

◇外国会員入会 :金 信愛(大韓民国), 中国教育図書進出口公司(中国), Mr.TOTOK AGUNG DWI HARYANTO(INDONESIA)

住所変更等

◇普通会員 :入来規雄, 大澤勝次, 佐藤久泰, 品田裕二, 田中一生, 村山誠治, 山田敏彦(北海道), 三上泰正(青森), 五十嵐喜星, 早坂浩志(宮城), 境 哲文, 藤井芳一, 間藤正美(秋田), 神尾正義, 河田尚之, 葛谷真輝, 國広泰史, 清水武史, 二階堂麻子(旧姓:松本), 廣瀬玉紀, 法隆大輔, 山本昌司(茨城), 小田俊介, 松原秀樹, 吉成 強(栃木), 尾崎寛子, 高橋利和(群馬), 小澤一寛, 齋藤亮泰(埼玉), 熊谷全弘, 多田雄一(千葉), 魚住武司, 佐々木昭博(東京), 大槻 寛, 小牧有三, 佐々木康之(新潟), 高柳謙治(富山), 荒井輝博(岐阜), 池田浩輔, 金田 泉, 菊池一浩, 木村達郎(愛知), 近藤正敏(三重), 寺本 薫(滋賀), 静川幸明(京都), 福井希一, 山口俊彦(大阪), 猪俣伸道, 谷川 毅(兵庫), 石川直幸, 石本政男(広島), 執行正義(山口), 氏原和人, 武田 真(香川), 上堂秀一郎(愛媛), 石井敬子(高知), 尾形武文(福岡), 土門英司(熊本), 齊藤清男(大分), 長谷 健(鹿児島)杉澤 武, 谷尾昌彦(沖縄)

(外国より国内へ) 洪 淳寛(愛知)

◇学生会員 :秋本正博(北海道), 鷲田治彦(茨城), 石川吾郎(京都), 伊藤美佳子(大阪)

◇団体会員 :名称変更:日泉化学(株)大洲工場(旧:日本ケミテック(株))(愛媛)

◇外国会員 :(国内より外国へ)
禹 仙熙, 裴 昌傑(大韓民国), 王 才林(中国)

訂正とお詫び

育種学研究編集事務局

育種学研究第1巻第1号に掲載しました原稿に受領日・受理日が欠落しておりました。下記のとおり受領日・受理日をお知らせすると共に、著者の方々にお詫び申し上げます。

記

原著論文

武田和義・高橋秀和:オオムギおよびコムギにおける深播耐性の品種変異

1998年10月29日受領, 1998年12月8日受理

ノート

伊勢一男・孫 有泉・劉 吉新:中国雲南省における稲遺伝資源と水稻育種の日中共同研究

1998年7月9日受領, 1998年11月21日受理

野田和彦・天野洋一・鈴木孝子:コムギの穂発芽と天候

1998年8月18日受領, 1998年12月7日受理

特集記事

武田元吉:和文誌「育種研究」に期待する

1998年11月7日受領

鶴飼保雄:QTL解析の理論

1998年9月3日受領

永野邦明:古川農業試験場におけるイネ育種の最近の成果

1998年11月20日受領

山田利昭:1991年植物新品種保護国際条約(UPOV 条約)及び種苗法の改正と新しい植物品種保護制度の仕組み

1998年11月4日受領

育種通信

神山康夫:第15回国際植物生殖学会に参加して

1998年9月15日受領

木下俊郎:第18回国際遺伝学会議と中国におけるハイブリッドライスの育種

1998年10月29日受領

賛助会員の頁

眞田松吉・鏡 勇吉:キリンビールのアグリバイオ事業と育種開発

1998年10月8日受領

桑野静二:-開発の概要と方針- JT植物開発研究所

1998年10月29日受領